

中学校生活のスタート 三つの「一」

学年目標である「一生懸命 一心同体 一期一会」に懸けた願いを伝えます。

【一生懸命】・・・物事を命がけて真剣にすること。(四字熟語辞典)

中学生だからこそできる「一生懸命」があります。中学校生活では、普段の授業、定期テスト、体育祭、合唱コンクール、職場体験、校外学習、宿泊学習、鳴子、そして部活動の大会などさまざまな場面に遭遇します。これは成長への大きなチャンスです。一生懸命は人の心を動かし、過去を振り返った時に一生懸命を残せていれば自分の心に響きます。一生懸命学習し、一生懸命体を鍛え、そして一生懸命心を育ててほしいです。

【一心同体】・・・二人以上の人間の心が一致し、同じ体、すなわち一人の人間であるような強い結びつきをすること。(四字熟語辞典)

中学校だからこそできる集団生活があります。みんなは今まで何度、人のために行動したことがありますか。一番点数が高い人、一番足が早い人が必ずしも一番優れている人とは限りません。人間を測るものは一つではないのです。

あいさつができる。返事ができる。整理整頓が得意。歌がうまい。絵が上手。人の話を聴くことができる。人に笑顔を与えられる。人を幸せにできる・・・どれもすばらしい長所です。それぞれ違う人たちが、心を重ねて高め合えれば、個人では届かぬ想いにたどり着けると思います。周りの人を尊重し、団結できる学年を築いていきたいです。

【一期一会】・・・一生に一度の出会いのこと。また、そのこと生涯に一度限りであることを表し、人との出会いなどを大切にすることのたとえ。(四字熟語辞典)

今ここで生きているからこそその出会いがあります。偶然から生まれた今のクラス、今の学年、今の先生、今の先輩たち・・・もしどこかで違う道に進んでいたらこの出会いはなかったかもしれません。そして、生活班の班員、委員会、部活動の部員・・・これからも出会いは続いていきます。人生は贈り物。毎日がラッキーとは限らない。占いが最下位だとしても、それもまた大切にしてもらいたい。自分と関わった人が笑顔でいられるように！出会いと共に時間と絆を大切にしていきたいです。

以上が学年目標へ懸けた願いです。一生懸命、一心同体、一期一会を心に掲げた一年間を過ごすことができれば、中学生として、人間としての土台作りはしっかりしたものとなり、2年生になったときにはたくましい先輩としての背中を後輩に見せられると私は信じています。そして、その背景には保護者様のかかわりも必要不可欠です。学校として、教員として、保護者として、子どもたちの成長を支えていきましょう。

1年間、よろしく願いいたします。

1 学年主任